

事 前 評 価 調 書

I 事業概要																						
事業名	農業農村整備事業（防災ダム事業）																					
地区名	雁狭間池地区																					
事業箇所	知多郡東浦町大字緒川																					
事業のあらまし	<p>本地区は、東浦町の西部に位置しており、雁狭間池は地域の重要な水源であるとともに、防災重点農業用ため池に指定されている。本施設は、1983年から1984年に改修が行われているが、堤体の断面不足、緊急放流能力不足、及び洪水吐の流下能力不足が確認された。</p> <p>このため、早急に堤体の改修及び豪雨対策を行い、ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p>																					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保を図る。</p> <p>（基準雨量：114.3mm/時間、1/200年確率雨量）</p>																					
事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費</th><th>内訳</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.7億円</td><td>■工事費 2.4億円、■用補費 0.1億円、■その他 0.2億円</td></tr> </tbody> </table>	事業費	内訳	2.7億円	■工事費 2.4億円、■用補費 0.1億円、■その他 0.2億円																	
事業費	内訳																					
2.7億円	■工事費 2.4億円、■用補費 0.1億円、■その他 0.2億円																					
事業期間	採択予定年度 2024年度 着工予定年度 2025年度 完成予定年度 2027年度																					
事業内容	堤体工、取水施設工、洪水吐工（緊急放流施設付） 各一式																					
II 評価																						
①事業の必要性	<p>1) 必要性</p> <p>雁狭間池は、堤体の断面不足及び洪水吐の流下能力不足により、豪雨時に決壊する恐れがある。</p> <p>このため、堤体・洪水吐等の改修により、ため池の決壊を未然に防ぎ、農業生産の維持、農業経営の安定化及び地域住民の暮らしの安全確保を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>必要能力</th><th></th><th>雁狭間池</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">堤体の改修</td><td rowspan="2">変状の有無</td><td>現況</td><td>変状有</td></tr> <tr><td>計画</td><td>改修</td></tr> <tr> <td rowspan="2">緊急放流施設の整備</td><td rowspan="2">放流時間 24h以内</td><td>現況</td><td rowspan="2">新設</td></tr> <tr><td>計画</td></tr> <tr> <td rowspan="2">洪水吐の改修</td><td rowspan="2">計画排水量 3.98m³/s以上</td><td>現況</td><td>1.23</td></tr> <tr><td>計画</td><td>4.19</td></tr> </tbody> </table> <p>また、決壊した場合に人的被害を与える恐れのあるため池の防災工事等の推進を目的とした、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき作成する「防災工事等推進計画」に位置付けた事業である。</p>		必要能力		雁狭間池	堤体の改修	変状の有無	現況	変状有	計画	改修	緊急放流施設の整備	放流時間 24h以内	現況	新設	計画	洪水吐の改修	計画排水量 3.98m ³ /s以上	現況	1.23	計画	4.19
		必要能力		雁狭間池																		
堤体の改修	変状の有無	現況	変状有																			
		計画	改修																			
緊急放流施設の整備	放流時間 24h以内	現況	新設																			
		計画																				
洪水吐の改修	計画排水量 3.98m ³ /s以上	現況	1.23																			
		計画	4.19																			
判定	<table border="1"> <tr> <td>A</td><td>A : 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B : 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</td></tr> </table> <p>【理由】</p> <p>堤体、洪水吐の改修、緊急放流施設の設置を行うことにより、ため池決壊による農地、農業用施設、人家等への被害を未然に防止する必要がある。</p>	A	A : 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B : 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。																			
A	A : 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B : 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。																					

②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">工種区分</td><td>調査・設計</td><td style="text-align: center;"></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>工事</td><td></td><td style="text-align: center;"></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・堤体工</td><td></td><td></td><td style="text-align: center;"></td><td></td></tr> <tr> <td>・取水施設工</td><td></td><td style="text-align: center;"></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・洪水吐工</td><td></td><td></td><td style="text-align: center;"></td><td></td></tr> </tbody> </table>							2024	2025	2026	2027	工種区分	調査・設計					工事					・堤体工					・取水施設工					・洪水吐工				
		2024	2025	2026	2027																																	
工種区分	調査・設計																																					
	工事																																					
	・堤体工																																					
	・取水施設工																																					
	・洪水吐工																																					
	事業費（億円）	2.7																																				
	2) 地元の合意形成					地元からの申請事業であり、事前に地元関係者への説明などを行っており、合意形成は図られている。																																
III 対応方針	判定	A	A : 事業計画の実効性が期待できる。 B : 事業計画の実効性が期待できない。																																			
		<p>【理由】 地元の合意形成が図られており、実効性が期待できる。</p>																																				
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																						
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>事業後の決壊被害の有無を確認</p> <p>※事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生した場合、その降雨により評価する。事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生しなかった場合は、事業完了後5年間の最大規模の降雨により評価する。</p>																																						